

2016年度 第1四半期決算について

2016年 7月 29日  
東日本旅客鉄道株式会社

1. 決算概要

○損益計算書

(単位：億円)

		第1四半期累計 (4月1日～6月30日)				通期 (4月1日～3月31日)			
		2015年度 実績 A	2016年度 実績 B	増減		2015年度 実績 C	2016年度 予想 D	増減	
				金額 B-A	% B/A×100			金額 D-C	% D/C×100
単 体	営業収益	5,012	5,051	39	100.8	20,573	20,600	26	100.1
	うち運輸収入	4,415	4,446	31	100.7	18,050	18,070	19	100.1
	営業利益	1,206	1,158	△48	96.0	4,099	3,730	△369	91.0
	経常利益	1,153	1,098	△54	95.3	3,594	3,230	△364	89.9
	四半期(当期)純利益	813	792	△20	97.5	2,090	2,290	199	109.6
連 結	営業収益	6,879	6,980	101	101.5	28,671	28,780	108	100.4
	営業利益	1,369	1,328	△40	97.0	4,878	4,500	△378	92.2
	経常利益	1,205	1,170	△34	97.1	4,289	3,930	△359	91.6
	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	792	799	7	100.9	2,453	2,660	206	108.4

○決算のポイント

- ・ 単体決算は増収減益。北海道新幹線開業効果などにより、営業収益・運輸収入は5期連続の増収かつ、第1四半期決算としては過去最高。新幹線鉄道大規模改修引当金繰入などに伴い営業費は増加し、全ての利益が減益。
- ・ 連結決算は増収増益。営業収益は5期連続の増収かつ、第1四半期決算としては過去最高。また、親会社株主に帰属する四半期純利益が過去最高。

(セグメント別内訳)

**運輸業**は、当社の運輸収入が定期外収入を中心に増加したものの、新幹線鉄道大規模改修引当金繰入などに伴い当社の営業費用が増加したことにより、増収減益。

**駅スペース活用事業**は、仙台駅等の店舗の売上が好調であったものの、工事支障による閉店の影響などにより、減収減益。

**ショッピング・オフィス事業**は、「JR新宿ミライナタワー」、「NEWoMan (第1期)」、「エスパル仙台東館」の開業効果などにより、増収増益。

**その他**は、北海道新幹線関連工事、広告代理業、クレジットカード事業の売上増などにより、増収増益。

2. 2016年度通期の業績予想 (単体・連結ともに数値は上記の通り)

- ・ 2016年4月27日発表の業績予想から単体・連結ともに変更いたしません。

3. 株主還元状況 (当社)

○配当状況

- ・ 2016年度(予想) 中間配当(1株当たり) 65円 期末配当(1株当たり) 65円

○自己株式の取得状況

- ・ 2016年度 取得した株式の総数 309万株 取得価額の総額 299億円  
※なお、2016年7月26日に自己株式309万株を消却しております。

## 4. 単体損益計算書

(単位：億円)

科 目	2015年度 第1四半期 累計期間 (2015.4.1~ 2015.6.30) A	2016年度 第1四半期 累計期間 (2016.4.1~ 2016.6.30) B	増 減		主な増減事由等	通期業績予想	
			金 額	%		2016年度 予 想	対前年 増 減
			B - A	B/A×100			
営 業 収 益	5,012	5,051	39	100.8		[10,390] 20,600	26
運 輸 収 入	4,415	4,446	31	100.7	定期収入 +8 (100.7%) 定期外収入 +22 (100.7%) 新幹線 +5 (増：北海道新幹線開業) 在来線 +17 (増：基礎収入の増)	18,070	19
そ の 他 の 収 入	596	604	7	101.3		2,530	6
運 輸 附 帯 収 入	198	196	△	99.1			
運 輸 雑 収 入	215	214	△	99.3			
関 連 事 業 収 入	183	194	10	106.0	不動産賃貸収入の増		
営 業 費	3,806	3,893	87	102.3		16,870	396
人 件 費	1,203	1,167	△	97.0		4,620	△ 112
物 件 費	1,453	1,560	107	107.4		7,460	433
動 力 費	151	143	△	94.6		620	16
修 繕 費	468	549	80	117.2	新幹線鉄道大規模改修引当金繰入による増	2,850	286
そ の 他	833	868	34	104.2	部外委託関係の増	3,990	131
機 構 借 損 料 等	221	219	△	99.0		890	20
租 税 公 課	225	240	15	106.7		960	54
減 価 償 却 費	701	705	3	100.5		2,940	1
営 業 利 益	1,206	1,158	△	96.0		[2,380] 3,730	△ 369
営 業 外 損 益	△ 53	△ 59	△	6	111.4	△ 500	5
営 業 外 収 益	159	137	△	21	86.3	受取配当金 △17	
営 業 外 費 用	213	197	△	15	92.6		
経 常 利 益	1,153	1,098	△	54	95.3	[2,140] 3,230	△ 364
特 別 損 益	△ 9	△ 10	△	0	105.8	0	357
特 別 利 益	19	51	32	262.3	災害に伴う受取保険金 +25		
特 別 損 失	29	62	32	210.1	投資有価証券評価損 +18		
税引前四半期純利益	1,143	1,088	△	55	95.2	3,230	△ 7
法 人 税 等	330	295	△	34	89.5	940	△ 207
法人税、住民税及び事業税	180	131	△	48	73.0		
法人税等調整額	150	163	13	109.3			
四 半 期 純 利 益	813	792	△	20	97.5	[1,480] 2,290	199

(参考) 2016年度の1株当たり予想当期純利益(通期) 588円56銭

(注) 2016年度予想の[ ]内の数値は、第2四半期累計期間の業績予想であります。

5. 鉄道輸送量・鉄道運輸収入（単体）

		鉄道輸送量（単位：百万人扣）				鉄道運輸収入（単位：億円）			
		2015年度 第1四半期 累計期間 〔2015.4.1～ 2015.6.30〕 A	2016年度 第1四半期 累計期間 〔2016.4.1～ 2016.6.30〕 B	増減		2015年度 第1四半期 累計期間 〔2015.4.1～ 2015.6.30〕 C	2016年度 第1四半期 累計期間 〔2016.4.1～ 2016.6.30〕 D	増減	
				輸送量 B-A	% B/A×100			金額 D-C	% D/C×100
新幹線	定期	439	442	2	100.5	60	61	0	101.2
	定期外	5,034	5,019	△15	99.7	1,301	1,307	5	100.4
	計	5,474	5,461	△12	99.8	1,361	1,368	6	100.4
在来線	定期	18,836	18,611	△225	98.8	1,196	1,204	7	100.6
	定期外	9,463	9,469	6	100.1	1,856	1,874	17	100.9
	計	28,299	28,080	△218	99.2	3,053	3,078	25	100.8
新在計	定期	19,276	19,053	△222	98.8	1,257	1,265	8	100.7
	定期外	14,498	14,488	△9	99.9	3,158	3,181	22	100.7
	計	33,774	33,542	△231	99.3	4,415	4,446	31	100.7

[在来線内訳]

関東圏	定期	18,007	17,820	△187	99.0	1,149	1,157	7	100.7
	定期外	8,815	8,868	53	100.6	1,730	1,753	22	101.3
	計	26,822	26,689	△133	99.5	2,880	2,910	30	101.0
その他	定期	828	790	△37	95.4	47	47	0	100.2
	定期外	648	600	△47	92.7	125	120	△5	95.9
	計	1,476	1,391	△85	94.2	173	168	△5	97.1

(注) 1. 鉄道輸送量については従来発売日を基に算出しておりましたが、2016年度より、有効期間開始日を基にした算出方法に変更いたしました。  
2. 「関東圏」とは、当社東京支社、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社および千葉支社管内の範囲であります。

6. 単体貸借対照表

(単位：億円)

科目	2015年度 期 末 〔2016.3.31〕 A	2016年度 第1四半期末 〔2016.6.30〕 B	増 減		主な増減事由等
			金額 B-A	% B/A×100	
流動資産	7,585	5,072	△2,513	66.9	
固定資産	65,116	64,483	△632	99.0	
資産合計	72,702	69,556	△3,145	95.7	
流動負債	14,307	11,249	△3,057	78.6	未払金 △2,879
固定負債	38,118	37,909	△209	99.5	
負債合計	52,426	49,159	△3,267	93.8	
純資産合計	20,276	20,397	121	100.6	四半期純利益 +792、自己株式 △300、配当 △254
負債・純資産合計	72,702	69,556	△3,145	95.7	

## 7. 連結損益計算書

(単位：億円)

科 目	2015年度 第1四半期 累計期間 (2015.4.1~ 2015.6.30) A	2016年度 第1四半期 累計期間 (2016.4.1~ 2016.6.30) B	増 減		主な増減事由等	通期業績予想	
			金 額 B - A	% B/A×100		2016年度 予 想	対前年 増 減
営 業 収 益	6,879	6,980	101	101.5	連単倍率 1.38 (前年同期) 1.37	[14,320] 28,780	108
(セグメント別内訳)							
運 輸 業	4,740	4,788	47	101.0	当社の運輸収入が定期外収入を中心に増加したことによる増	19,510	△ 35
駅スペース活用事業	978	975	△ 2	99.7	工事支障による閉店の影響などによる減	4,020	20
ショッピング・オフィス事業	623	646	22	103.6	「JR新宿ミライナタワー」「NEWoMan(第1期)」「エスパル仙台東館」の開業効果などによる増	2,740	180
そ の 他	536	570	33	106.3	北海道新幹線関連工事、広告代理業、クレジットカード事業の売上増などによる増	2,510	△ 56
営 業 費 用	5,509	5,651	141	102.6		24,280	486
営 業 利 益	1,369	1,328	△ 40	97.0	連単倍率 1.15 (前年同期) 1.13	[2,720] 4,500	△ 378
(セグメント別内訳)							
運 輸 業	1,045	994	△ 50	95.2	新幹線鉄道大規模改修引当金繰入などに伴い営業費用が増加したことによる減	3,080	△ 405
駅スペース活用事業	85	78	△ 7	91.7		330	△ 20
ショッピング・オフィス事業	195	198	2	101.4		750	33
そ の 他	37	51	13	135.7		350	△ 0
調 整 額	5	6	1	121.8		△ 10	14
営 業 外 損 益	△ 163	△ 157	5	96.7			
営 業 外 収 益 (うち持分法による投資利益)	49 (7)	39 (1)	△ 10 (△ 6)	79.6 (24.1)			
営 業 外 費 用	212	197	△ 15	92.7			
経 常 利 益	1,205	1,170	△ 34	97.1	連単倍率 1.07 (前年同期) 1.05	[2,380] 3,930	△ 359
特 別 損 益	△ 32	△ 16	15	50.5			
特 別 利 益	26	53	26	200.6	災害に伴う受取保険金 +25		
特 別 損 失	58	69	10	118.1	投資有価証券評価損 +18		
税金等調整前四半期純利益	1,173	1,154	△ 19	98.4			
法 人 税 等	378	351	△ 26	92.9			
法人税、住民税及び事業税	221	178	△ 42	80.8			
法人税等調整額	156	172	15	110.1			
四 半 期 純 利 益	795	802	7	101.0			
非支配株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	2	3	0	112.1			
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	792	799	7	100.9	連単倍率 1.01 (前年同期) 0.97	[1,580] 2,660	206

(参考) 2016年度の1株当たり予想当期純利益(通期) 684円24銭

(注) 1. 2016年度予想の[ ]内の数値は、第2四半期累計期間の業績予想であります。

2. 営業収益のセグメント別内訳は、外部顧客への売上高を示しております。

## 8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

科 目	2015年度 期 末 〔 2016. 3. 31 〕 A	2016年度 第1四半期末 〔 2016. 6. 30 〕 B	増 減		主な増減事由等
			金 額 B - A	% B/A×100	
流 動 資 産	9,345	6,681	△ 2,663	71.5	
固 定 資 産	68,552	67,943	△ 609	99.1	
資 産 合 計	77,897	74,624	△ 3,273	95.8	
流 動 負 債	14,049	10,838	△ 3,211	77.1	未払金 △2,884
固 定 負 債	39,222	39,049	△ 172	99.6	
負 債 合 計	53,272	49,888	△ 3,383	93.6	
純 資 産 合 計	24,625	24,736	110	100.4	親会社株主に帰属する四半期純利益 +799、 自己株式 △300、配当 △254
負 債 ・ 純 資 産 合 計	77,897	74,624	△ 3,273	95.8	連単倍率 1.07 (前年度末) 1.07

## 9. 連結有利子負債

(単位：億円)

科 目	2015年度 期 末 〔 2016. 3. 31 〕 A	2016年度 第1四半期末 〔 2016. 6. 30 〕 B	増 減		平均金利 (対前年度末)
			金 額 B - A	% B/A×100	
社 債	18,099	18,099	0	100.0	1.83% ( — )
長 期 借 入 金	9,937	9,926	△ 11	99.9	1.22% ( △ 0.00% )
鉄 道 施 設 購 入 長 期 未 払 金	4,383	4,383	—	100.0	6.18% ( △ 0.00% )
合 計	32,419	32,408	△ 11	100.0	2.23% ( △ 0.00% )

(注) 「社債」、「長期借入金」、「鉄道施設購入長期未払金」は、1年以内に返済する残高を含んでおります。

## 10. 連結主要諸元

(単位：%)

	2015年度 第1四半期 A	2015年度 期 末 B	2016年度 第1四半期 C	増 減 対前年同期 C - A
総資産営業利益率 (ROA)	1.8	6.3	1.7	△ 0.1
自己資本当期純利益率 (ROE)	3.4	10.4	3.3	△ 0.2

## 11. 連結設備投資額

(単位：億円)

設 備 投 資	2015年度 第1四半期 A	2016年度 第1四半期 B	増 減		通期設備投資計画	
			金 額 B - A	% B/A×100	2016年度 計 画	対前年 増 減
運 輸 業	352	268	△ 83	76.4	3,930	7
非 運 輸 業	145	238	92	163.4	1,570	72
合 計	498	507	9	101.9	5,500	80

## 12. 2018年度数値目標

(単位：億円)

	2015年度 実績 〔2015.4.1～ 2016.3.31〕 A	2016年度 業績予想 〔2016.4.1～ 2017.3.31〕 B	2018年度 数値目標 C	増減	
				金額 C - A	% C/A×100
営業収益	28,671	28,780	29,670	998	103.5
セグメント別					
運輸業	19,545	19,510	19,790	244	101.2
駅スペース活用事業	3,999	4,020	4,270	270	106.8
ショッピング・オフィス事業	2,559	2,740	2,960	400	115.6
その他	2,566	2,510	2,650	83	103.2
営業利益	4,878	4,500	4,980	101	102.1
セグメント別					
運輸業	3,485	3,080	3,420	△ 65	98.1
駅スペース活用事業	350	330	370	19	105.4
ショッピング・オフィス事業	716	750	840	123	117.3
その他	350	350	360	9	102.8
調整額	△ 24	△ 10	△ 10	14	40.1

(注) 営業収益のセグメント別内訳は、外部顧客への売上高を示しております。

	2015年度	2018年度数値目標
営業キャッシュ・フロー	6,731億円	3年間(2016～2018年度)総額 20,000億円
総資産営業利益率(ROA)	6.3%	6%程度
自己資本当期純利益率(ROE)	10.4%	10%程度

	2015年度	3年間(2016～2018年度)総額
設備投資	3,585億円	10,000億円
(うち安全投資)	(2,384億円)	(6,000億円)
成長投資	1,834億円	6,000億円
合計	5,419億円	16,000億円

※本資料の記載金額および輸送量は、単位未満を切り捨てて表示しております。